



E-mail: office@npo-parler.com パルレHP: <http://npo-parler.com/>

代表理事あいさつ 熊谷 恵美

パルレ会員のみなさま、ご支援くださるみなさま。季節がやっと秋になり、過ごしやすくなってまいりましたが、疲れが出やすい気候の変わり目でもあります。お体を大切になさってくださいませ。

品川区は、令和4年度に、「障害者計画策定等のための基礎調査」を実施し、令和5年7月に報告書を作成・公表いたしました。家族の声、当事者の声、支援者の声などがアンケートとしてまとめられております。家族の要望としては、就学相談がよくわからない、将来が心配、支援があれば品

川区で暮らしていきたいなど。当事者の希望としては、長時間勤務が難しい、1日3時間くらいだと助かるなど。ほかにも様々な希望、要望、問題点が上がっており、「障害者計画」の中に反映されることを私どもも願っております。今後も、みなさまとともに声を上げ、事業を継続して、当事者とご家族のよりよい生活を目指してまいります。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「障害者計画策定等のための基礎調査」
全文は品川区HPに掲載中

ら・るーと活動報告



2023年度第2回啓発講演会 障害のある子の「親なき後」親ある間にできること
講師：渡部 伸氏（行政書士・社会保険労務士） 7月29日 中小企業センター アンケートより

「親なきあと、我が子の暮らしはどうなるのだろう」それは、障害のある子の親にとって大きなテーマです。漠然とした将来への不安は、福祉サービスや制度を知ること、具体的な課題となり備えることができます。今回は、ご要望が多かった「親なきあと」について、ご自身が知的障害のある子を持つお父様でもある渡部伸先生にご登壇いただきました。当日は大変な猛暑にもかかわらずたくさんの方に参加いただき、皆様の切実な思いを感じ取り、今後も関連の講演会を継続していく必要性を痛感いたしました。

■ご家族の方の感想

- 親が定年を迎えるので、面倒を見続けていくのが難しいと感じていて焦っております。何か情報が欲しくて受講しました。市役所や、近くの障害者支援センター・病院でいろいろ相談していますが、結局本人が家から出られる状態でないため、先に進めないのだそうです。何か糸口がないか、相談できるところがわかり、大変良かったと思います。
- 今後の生活において、ポアっとしたことしか見えてなかったことや考えてなかったことが、今日の話聞いて課題が整理された。初めて聞く情報として、とても役に立つ内容でした。
- お金の話（信託制度・共済制度）、後見制度の最近の状態など、大変参考になりました。生活自立支援の件については、一度渡部先生と打ち合わせしたいです。一人暮らし時の生活支援についての情報も大変参考になりました。
- お金を渡す仕組みや暮らしのことなど、わからないことばかりだったのでためになりました。地域と繋がっていただければなんとかなる、ということで大変心強いですが、なかなか本人は地域と繋がれないので、なんとかしなくてはなあと思います。
- 今回のテーマは「障害のある子の～」となっていました。発達障害でも手帳を持たない人や働いて収入がある人にとっても、障害の程度に関係なく役立つ内容であったと思います。親なき後、お金と生活支援をどうしたらいいのか気になっていました。「信託制度」や「～共済制度」など、そのような制度があるのかと…。個人で考えていてもそのような制度の存在に辿り着くのも難しいですし、知らなければ調べることもできなかつたと思い

ます。(中略)渡部先生の「伝えなかったこと⇒いざとなったらなんとかなる!」、少し気持ちを楽にさせていただきました。現在のパルレの活動、私たち親の思い、そして当事者の声、この先の障害者支援に繋がっていくことを切に願います。



- 信託の種類が多く、理解できなかったのですが、今回の研修で整理されて提示されていたので、わかりやすかったです。住まいの多様性があり、びっくりでした。品川区内は、高齢者と子供保育園のセットは多くありますが、障害に弱いと感じています。地域で生活するために、グループホームの設置（障害だけでなく高齢者とのミックス）の検討もしていただきながら、個人の生きやすい街づくりができたらと感じました。
- 発達障害のセミナーは、子どもの発達についてが多いように思いますが、子供が成長して行くにあたり、困りごとでも変化して行きました。今回は、ちょうど今欲していたテーマでした。

■支援者の方の感想

- 「親なきあと」は重要な問題です。私は教育関係で子どもと関わっているのですが、保護者の方も私も、考えているのは就労までです。また、保護者の方の気持ちは、まだまだ通常学級に通わせたい、と考えているのが現状です。私自身も親として考えることが多くなる年齢になりました。今日は色々な制度について知ることができました。

発達障害の特性理解をさらに深め、現場での具体的支援を学ぶ、支援者向け連続講座です。主に、幼児期～学齢期のお子さんを中心に、集団における「不適切な言動」の要因と、要因をふまえた対応を学びます。第1回は、「脳機能の視点」。聞きなれない言葉と思われる参加者もおられるようですが、上原先生の「支援とは何か」の根本を貫く大切な視点です。

■福祉関係の方の感想

- 【支援とは】を改めて整理できたと感じます。特別支援は、【特別】という文字がつくことで「特別な支援をしないとイケない」と支援者側も囚われてしまいがちなのだと腑に落ちました。最近の業務で感じるモヤモヤが少し晴れたように感じます。次回以降、周囲が気付かない水面下の支援、意識のカプセルの増やし方や次のカプセルへの繋ぎ方、支援者の距離感など、様々な具体的な支援の学びが今から楽しみです。
- 内容が盛り沢山でしっかりかみ砕く・自分のなかに落とし込むにはとてもボリュームでした。第3回までとても楽しみです。ありがとうございました。
- 「究極の目的は自ら前に進もうとする姿勢を育てること」という言葉に感銘を受けました。現在、敏感なお子さんのそばにすることが多く、サポートしているようなつもりでいましたが、それは彼が育つためになっているのかと、考えさせられました。敏感で不安感が多いので1人でできるよう少し離れて見守ろうと焦ることもありますが、受け入れられているという安心感、10歳までの「ことなかれ対応」で良いのだと納得しました。今回は今までとまた違う学びも得られとても勉強になりました。
- 聞き慣れないと感じる言い回しも、お話を聞くにつれてストンと腑に落ちました。普段から巡回相談などで学校・園などを訪問する機会がありますが、先生がおっしゃるように、不適切と思われる、気になってしまうような関わり方に遭遇することもありジレンマを感じていました。立場により、どうしてもできることに限りがあり、手応えとともに不全感を感じることもありますが、支援の方程式を学ばせていただくことで希望を持って現場に赴きたいと思います。
- 10歳までの「事なかれ対応」は毎日安全に運行する電車のようなだなと感じました。水面下で支援することですべての子どもたちが安心して過ごすことができる。目指すのは何事も起きないこと。ただ学校現場では一人の先生だけでは対応しきれない部分もあると感じました。お話の中でもありましたが、専門の先生が担当の先生と一緒にチームで対応できるシステムがすべての学校で構築されていけばよいと感じます。「最小限の支援で最大限の効果」は理想的、しかしとても挑戦しがいのある

ミッションであり、そこを目標に支援を考えていきたいと思いました。

■教育関係の方の感想

- 今回のお話を伺って、目からうろこの部分はあったが、特別支援＝人の確保、特別支援＝繋ぐという考えのほうがスタンダードなので、どのように現場に落とし込んでいくものか、悩みが増えた部分もある。先生の仰るダブルスタンダードでよい、というのは安心感があった。その子どもにとってメリットがあれば、結果的に理解者も増えていくと思った。
- 普段の業務である行動観察時に、自分の見方がざっくりしすぎているなあ、もう少し具体的な支援に繋がったり、子供が無駄に怒られない視点の提示ができないものかと考えていました。また、保護者ご自身が特性を持っていたり、「自分もこんなものだった」と言って子供自身の学校での困り感や、周囲の子の困り感に対する理解が難しいことにも日々悩むことが多々あります。今日の「この場面、この言動からこの要因」を意識して行動観察をしていきたいと思いました。次回以降、支援の実際について学びを深めたいと思います。

■保護者の方の感想

- ことを起こさせないのが支援で、起きた後は事後処理だ、というのが、印象に残りました。先生の書籍も読ませていただきつつ、学びを深めたいと思います。担任の先生からWISCを受けたらどうですかと言われ、それが特効薬になるように思えませんでした。子どもの程度が微妙で、忘れ物が多い、提出物を出すべきタイミングで出せない、というもの。先生が悩まれているので、お家ではどうされていますかと、繰り返し聞かれ困っています。まだらではあるものの、できる日もあるし、難しい時もある。親としては、徐々にできるようになっていると感じますが、瞬時に完全に治るなんてことあるのかな、と疑問に思っています。区の相談室やスクールカウンセラー、そのほか支援者に相談しつつ、いい方法を模索しております。今後の講義も期待しております。



7月～9月のら・るーと本人支援活動

ボードゲームクラブ



スシゴー



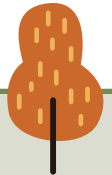
シャーベット作り



染め物体験



人生ゲーム



パルレ学習会 ペアレント・トレーニング入門:発達支援と保護者支援の工夫とヒント
 講師: 中田 洋二郎氏 (立正大学名誉教授・日本ペアレント・トレーニング研究会会長)
 2023年8月11日 きゅりあん大会議室

アンケートより

講座では、「発達障害のペアレント・トレーニング簡易版: プログラムの進め方と運営のコツ」(中央法規 2023)をテキストとして、発達障害のペアレント・トレーニングの目的と実践の基礎を学びました。講義と演習の基礎となるプログラムは、わが国で広く普及している精研式ペアレント・トレーニングの短縮版(全6回)で、療育機関や医療機関で実施しやすいよう開発されたプログラムです。

ら・るーと(パルレ)では年2回の中田先生のペアトレ(品川限定)を実施しております。私どもスタッフは聴講して学びを深め、また参加する保護者の方々が到達される「子供を対等の人として認める」という意識の高さに、毎回心を打たれております。そんなエッセンスがお伝えできる学習会になったものと思っております。

中田先生の講演会予定▶ 12月9日 オンライン「ペアレント・トレーニングに学ぶ 発達特性のある子への支援」

■支援者の方の感想

- 未就学時の児童発達支援をしています。支援している子どもに対してはほめる行動がたくさん見つかるのに、自分の子どもについて考えてみると毎日接しているはずなのに行動を書き出そうとすると筆が進みませんでした。我が子には期待や責任など感情が邪魔をして見えづらい部分があると感じます。中田先生のお話を伺って、第三者的視点で我が子の行動をみることなどペアトレの土壌作りや第一歩となる場の提供をしていきたいと思いました。子どもの行動に注目して原因を探し手助けの方法を考えていく過程は謎解きのようなですね。支援している子どもたち、そして我が子においても次々と生まれる謎解きを楽しみたいと思います。
- 10回の実施が難しいため6回版を勉強できてよかったです。虐待ケース、愛着ケースへの実施について工夫等を教えていただく機会が欲しいと思いました。(児相実践のため)
- 具体的なファシリテーターとしての動きや、保護者支援について大切なことをポイントを絞って伝えてくださり、大変参考になりました。先生のおっしゃる言葉すべてが、必要なところ、コツとして伝えてくださっていると感じ、あつという間のお時間でした。今後もフォローアップなどあれば参加させていただきたいと思います。
- 親だけでなく、支援者も必要で(面談などで、頭の中では)、日ごろ親に対して、こうすればよいのにと思っていたこと(アドバイスしていたこと)がワークショップなど自分事として考えると、自分こそできていないし同じようにしないといけない、とあらためて思った。「人のことを偉そうに言えない、まずは自分だ」と思った。
- 先生の肯定的な教え方がとても素敵で勉強になりました。自分自身ができていた部分と、これから頑張りたい部分をしっかりとまとめて活かしていきたいです。(法人役員)
- ペアレント・トレーニングという名であっても、私たち支援者にも参考になることが沢山ありました。「できている行動」を伝える＝「実況中継する」→行動が続くということと、CCQ「穏やかに・近づいて・冷静に」指示することの大切さ等を改めて認識しました。
- 本を読んだのが、ぎゅっと一日で数時間でつまっていた。ペアトレ受けたいけど順番待ちとお母様方の嘆きを聞いて、どんなプログラムなのか興味を持った。発達障害以外でも汎用性があることを初めて知った。(学生・ボランティア・公文アルバイト)

- 「無視待つほめる」は特性によって使い分けをしなければならないと思った。我が家のASD男子(自傷他害なし)には使えるのか難しいですが、どう使うか考えてみます。まずは「行動」を見るのが大切だと思えた。上手な指示の出し方はタイプ特性によってどんな手助けが効果的にどう出せるかもっと知りたいと思いました。(心理職・保護者)
- 入門としてポイントが分かりやすくまとまっていたと思います。大学院の授業(行動療法)でも少し学びましたが、今回のセミナーで学びが深まりました。今度はファシリテーターのセミナーがあると良いと思います。私自身、子供が発達障害(ASD)があり、対応に苦労してきたので、もっと早くに知れていたらと思います。今、子供は高校生になり、まだ苦労することもあるので、思春期・青年期の子に向けたセミナーがあると嬉しいです。(学生)
- 子どもの行動を見ること、子供と向き合うことは、親がいかに子どもを理解しているかということも大切だと感じました。ペアレントトレーニングに参加する方は、子どもの障害を受け入れている方も多いため、子供を見る視点を持っている方も多いのだらうと思います。私も日々の保護者の方との関わりで、子供のどういう行動を見るのか、どうしてその行動をするのかと聞き取って、支援につなげていけたらと思います。
- 9月からペアトレを実施するので勉強していましたが、今回参加してとても学びが多かったです。わかりやすく、保護者(参加している)の気持ちになっても、スーッと内容が入って来そうだなと思いました。まだまだこれからなのでもっと深めていけると良いと思いました。



■保護者の方の感想

- 年齢が低い子供には有効な方法かもしれないと思う。思春期になって診断を受けた我が家の場合は、困りごとに対する話し合いも難しいし、どんな声かけをしてやったら良いかわからない。思春期向けの親の対応について知りたい。





子育てピアトーク

「先輩保護者に聞く、成人期のこと」 10月7日(土) 大井町事業所

定員いっぱいのお申し込みがありました。お一人キャンセルがあり、参加者5名でのトークになりました。主催側はスタッフ2名、ゲストとして成人当事者の保護者1名。みなさん熱心に先輩保護者のお話を聞いておられました。

参加者のご感想

- 本当に知りたい情報やお話が聞けて良かったです。
●息子の自立(グループホーム)の時期を焦っていましたが、まだ同居されていると聞いて、少し安心しました。
●久しぶりに当事者の親の立場の方と話ができて楽しかったです。ありがとうございました。



●子供の意志を尊重すること、子供の成長を見守り待つことの大切さを学びました。あやふやになっていた今後の見通しが立ち、今すべき事がわかってきました。貴重なお話をありがとうございました。

▶次回は12月2日(土)10:30~12:00
トークテーマは「学校との向き合い方」です。

今後の予定

パルレ会員 は、パルレの会員の方限定です。
要申込 は、申込が必要です。
★は、どなたでも参加できます。
申込先メール: moushikomi@npo-parler.com

【パルレ】 予定が変更になる場合があります。パルレMLでご確認を。

■パルレヨガ 大井町事業所
11月4日(土)・12月2日(土)・2024年1月6日(土)
14:00~15:30
◇講師:三澤 美奈氏(ヨガセラピスト) ※初回無料
◇参加費:各回 大人1名 1,000円または家族で2,000円

■パルレで話そう ボランティアセンター 住居棟 1003号室
11月15日(水)13:30~15:30
◇参加費無料
※MLでお知らせいたしましたように、今年度は隔月で実施いたします。突然の変更で申しわけありません。

■子育てピアトーク 大井町事業所
12月2日(土) 10:30~12:00
◇会員無料、非会員500円

■パルレ学習会「タイトル未定」
2024年3月9日(土) 14:00~16:00
◇講師:本田 秀夫氏(信州大学医学部子どものこころの発達医学教室教授、NPO 法人ネスト・ジャパン代表理事)
◇会場:未定

【よかりんく】 大井町事業所

- ボードゲームクラブ 第1火曜日
■Switchクラブ 第2、第4水曜日
■将棋倶楽部 第3火曜日 ■鉄道クラブ 第3水曜日
(活動は、今後の感染状況により、変更になることがあります)

寄付のお願い

「よかりんく」は、発達特性のある青年の余暇支援活動です。青年の支援は就労目的が多いのですが、パルレは、「余暇をもっと大切に」と考えております。東京都保健福祉財団の助成金で開始しましたが、現在は助成期間が終了しております。よかりんく継続のため、みなさまからの暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。HPよりご寄付を受け付けております。



寄付連絡フォーム QR コード▶

【ら・るーと】

2023年度第3回啓発講演会
「ペアレント・トレーニングに学ぶ 発達特性のある子への支援」
ペアトレの効果として期待できる、ポジティブな親子関係の構築や改善は、保護者の支援また子どもの自我の健やかな成長に繋がります。本講演会では、ペアトレのエッセンスから子どもへの発達支援のヒントを学ぶとともに、家族と支援者の連携についても考えます。保護者の方も支援者の方も、どうぞふるってご参加ください。

12月9日(土) 14:00~16:00
◇講師:中田 洋二郎氏(立正大学名誉教授、臨床心理士、日本ペアレント・トレーニング研究会会長)
◇会場:オンライン会議室Zoom
◇資料代:無料
◇定員:150人(先着順) ※申込開始:10月21日

ペアレント・トレーニング土曜講座
◇講師:中田 洋二郎氏(立正大学名誉教授、臨床心理士、日本ペアレント・トレーニング研究会会長)
◇会場:オンライン会議室Zoom
◇資料代:1000円×6(初回一括)
全6回(土)10:00~12:00
2024年1月20日 / 2月3日 / 2月17日 / 3月2日 / 3月16日 / 3月30日
※申込開始:11月18日

2023年度 第4回啓発講演会「IDEA PROJECTIについて ~誰も排除しない労働社会を目指して~」
2024年2月15日(木) 19:00~20:30
◇講師:近藤 武夫氏(東京大学先端科学技術研究センター教授)
◇会場:オンライン会議室Zoom
◇資料代:無料

